

令和元年8月30日(金)
国土交通省 関東地方整備局
高崎河川国道事務所

記者発表資料

たかまつりったいなみえ

「R1国道17号高松立体並榎地区改良工事」において 「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行します

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R1国道17号高松立体並榎地区改良工事」は、国道17号の群馬県高崎市常盤町～並榎町において、国道18号からの合流ランプを整備するものですが、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、以下の①、②について試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、直接工事費の「置換工」「アンカー補強土壁工」「場所打函渠工」「側溝工」に係るものとし、予定価格作成のための参考とします。

②「間接工事費実績変更方式」

本工事は、「安全費」「運搬費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 電話048-601-3151(代)

技術管理課

課長補佐 大野 宏之(おおの ひろゆき)

高崎河川国道事務所 電話：027-345-6000(代)

副所長(技) 宮前 雅明(みやまえ まさあき)

工務第二課長 島倉 照勝(しまくら てるかつ)

} 対象工事の内容について

《R1国道17号高松立体並榎地区改良工事 工事概要》

- (1) 工事名 : R1国道17号高松立体並榎地区改良工事
- (2) 工事場所 : 自) 群馬県高崎市常盤町 ぐんまけんたかさしときわちょう 至) 同県同市並榎町 なみえまち
- (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和2年7月31日までとする。(予定)
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価方式(技術提案チャレンジ型)
- (5) 工事種別 : 一般土木

- (6) 工事内容(概要)
路体盛土工 830m³、路床盛土工 290m³、置換工 480m³、
アンカー補強土壁工 384m²、カルバート工 1式(コンクリート83m³、
鉄筋6.63t)、側溝工 91m、剛性防護柵工 131m、
構造物撤去工 1式、仮設工 1式

- (7) 見積の提出を求める工種「見積活用方式」
直接工事費のうち、「置換工」「アンカー補強土壁工」「場所打函渠工」
「側溝工」に係るもの

- (8) 見積の提出を求める理由
本工事は、新興住宅地に近接する狭小な施工ヤードでの工事であること、
また、工事期間中、新興住宅地前の市道を常に交通規制しつつ、沿道住宅か
らの車両や住民の出入りを確保しての施工となることから、作業効率の低下
が懸念されます。
以上の点から、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられる
ため「見積活用方式」を試行します。

- (9) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」
共通仮設費(率分)のうちの「安全費」「運搬費」

- (10) 実績により変更を行う理由
本工事は、新興住宅地に近接する狭小な施工ヤードでの工事であること、
また、工事期間中、新興住宅地前の市道を常に交通規制しつつ、沿道住宅か
らの車両や住民の出入りを確保しての施工となることから、工事地域内全般
の安全管理上の監視、連絡等に要する費用が多くなるほか、資機材置場の
確保が困難であり、資機材置場と現場の往復が日々何度も発生するため、
作業効率の低下が懸念されます。
以上の点から、安全費、運搬費において、標準的な積算と実勢価格に乖離
が生じることが予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮
設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

- (11) スケジュール
○入札公告 : 令和元年 8月30日
○入札日 : 令和元年10月17日